

第 173 回 学長定例記者会見

日時：令和 6 年 11 月 29 日（金）11：00～11：30

場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

サブ会場：広島大学東千田キャンパス 東千田校舎 A 棟 304（中会議室）

※サブ会場は、テレビ会議システムによるオンライン参加

※ 会見終了後、YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 楽天グループの三木谷会長が広島大学霞キャンパスで特別講演会を行います！（12/12 開催）
2. 「2024 年ノーベル賞解説講演会」を開催します（12/7 開催）

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取組に関する報告
2. 内閣府「総合知ワークショップ」を開催します（12/17 開催）
3. フォーラム『若手研究者の育成に資する評価は、どうあるべきか考える』を開催します（12/16 開催）
4. 【広島大学創立 75+75 周年記念事業】
「三分一博志講演会 & 三分一博志と巡るおりづるタワー」の開催について
（12/21 開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 6 年 12 月 25 日（水）

場所： 広島大学 霞キャンパス



第 173 回 学長定例記者会見 発表事項 1

令和 6 年 11 月 29 日

楽天グループの三木谷会長が広島大学霞キャンパス
で特別講演会を行います！（12/12 実施）

令和 6 年 12 月 12 日、広島大学霞キャンパスの学生を対象に、楽天グループ株式会社代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史（みきたに ひろし）氏による特別講演会を開催します。

三木谷氏は、米国発のバイオベンチャーである Rakuten Medical, Inc.（楽天メディカル）の CEO として、アルミノックス治療（光免疫療法）という、がん細胞などの標的細胞を選択的に破壊する治療法の開発を進めています。

広島大学病院は、本アルミノックス治療（光免疫療法）が国内で保険診療として提供開始された際、全国でいち早く導入した医療機関の一つです。

この度、三木谷氏が、広島大学長の越智 光夫、広島大学病院長の安達 伸生および当該臨床研究における関係教員と「アルミノックス治療」に関する意見交換のために霞キャンパスに来訪されることに際して、下記のとおり、医学部ほか霞キャンパスの学生を対象とした特別講演会を開催することになりました。

より多くの学生にとって貴重な機会となるよう、ランチタイムに開催します。

記

【意見交換会】

日 時：令和 6 年 12 月 12 日（木） 11：10～12：00

場 所：広島大学・霞キャンパス 臨床管理棟 3F 大会議室
（広島市南区霞 1-2-3）

参加者：

広島大学

越智 光夫 学長

田中 純子 理事・副学長（霞地区・教員人事・広報担当）

安達 伸生 病院長（大学院医系科学研究科（医）整形外科学） ほか

楽天グループ

楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長

Rakuten Medical, Inc. チーフ・エグゼクティブ・オフィサー（CEO）

三木谷 浩史 氏

楽天メディカル株式会社 代表取締役社長

小玉 裕之 氏 ほか

【特別講演会】

日 時：令和6年12月12日（木） 12：10～12：40

場 所：広島大学・霞キャンパス 臨床講義棟1F エムネスホール（第5講義室）（広島市南区霞 1-2-3）

講演者：楽天グループ株式会社代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史 氏

テーマ：「未来への挑戦：広島から世界へ」

定 員：260人

※定員を超える来場者があった時は、別室にてオンラインで聴講いただけるよう対応の予定。

＜当日の取材について＞

意見交換会の冒頭および講演会の取材は事前申込制とさせていただきます。
申込方法等につきましては、おってご連絡いたします。

【お問い合わせ先】

霞地区運営支援部

総務グループ 和田 芳弘

TEL:082-257-5602 FAX:082-257-5615



楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長

Rakuten Medical, Inc. チーフ・エグゼクティブ・オフィサー（CEO）

三木谷 浩史 特別講演

「未来への挑戦：広島から世界へ」

日時 2024年12月12日（木） 12：10～12：40

会場 広島大学・霞キャンパス 臨床講義棟 1F
エムネスホール（第5講義室）

演者

三木谷 浩史



社会全体が急速に変化する時代において、ひとりひとりが考え、行動し、新しい社会を切り拓いていくことが求められています。

本講演会では、社会にイノベーションをもたらすためのアントレプレナーシップ精神、それにもとづくヘルスケア分野におけるベンチャービジネスの精神やアルミノックス™プラットフォームによるがん治療の未来などについてお話しします。ぜひ、ご参加ください。

経歴

1965年神戸市生まれ。1988年一橋大学卒業後、日本興業銀行（現 みずほ銀行）に入行。1993年ハーバード大学にてMBA取得。日本興業銀行を退職後、1996年クリムゾングループを設立。1997年2月株式会社エム・ディー・エム（現 楽天グループ株式会社）を設立し、同年5月インターネット・ショッピングモール「楽天市場」を開業。現在、楽天グループとして、Eコマース、フィンテック、モバイル、デジタルコンテンツなど多岐にわたる分野で70以上のサービスを提供する。

Rakuten Medical, Inc.について

米国国立がん研究所から独占的ライセンスを取得したがん光免疫療法をベースに、独自の技術基盤「アルミノックス™プラットフォーム」を確立し、「アルミノックス治療（光免疫療法）」の研究開発を進めている。First-in Humanとなる初めての臨床試験開始から約5年の2020年9月、世界に先駆けて日本で本治療に用いる薬剤・医療機器の承認を取得した。現在、日本の臨床医の先生方が国際学会や論文を通じて本治療の発展をグローバルで牽引している。



広島大学

Rakuten

Rakuten Medical
ガン克服。生きる。
CONQUERING Cancer.



令和 6 年 11 月 29 日

「2024 年ノーベル賞解説講演会」を開催します
(12/7 開催)

今年のノーベル生理学・医学賞は、ヒトの遺伝子の働きを制御することができる「マイクロ RNA 分子」を発見した、アメリカの大学の研究者 2 人が受賞しました。

ノーベル化学賞には、全く新しいタンパク質の設計に成功したアメリカの大学の研究者と AI でタンパク質の構造予測に成功したイギリスの企業の研究者 2 人が選ばれました。

またノーベル物理学賞には、AI 技術の中核を担う「機械学習」の基礎となる手法を開発した、アメリカの大学の研究者とカナダの大学の研究者が選ばれました。

そしてノーベル平和賞には、被爆者たちによる草の根の運動で、核兵器のない世界を実現するために努力し、核兵器が二度と使われてはならないと証言を行ってきた日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が選ばれました。

これらを受けて当センターでは、一般の方、学生、教職員を対象として、2024 年ノーベル生理学・医学賞、ノーベル化学賞、ノーベル物理学賞、ノーベル平和賞についての解説講演会を開催いたします。是非ご参加ください。

記

【日時】2024 年 12 月 7 日（土） 13:00～17:00（開場 12:30）

【場所】広島大学東千田未来創生センター M201・202 講義室
（広島市中区東千田町 1-1-89）

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

【講演者・タイトル】

- 13:00～ 田原 栄俊（広島大学大学院医系科学研究科・教授）
「画期的な治療薬や病気の発見にも貢献する『マイクロ RNA』」
- 14:00～ 楯 真一（広島大学大学院統合生命科学研究科・教授）
「AI が拓いた生命科学における技術革新」
- 15:00～ 福嶋 誠（広島大学大学院先進理工系科学研究科・准教授）
「人工神経回路網に基づく機械学習の歴史」
- 16:00～ 川野 徳幸（広島大学平和センター長）
「日本被団協受賞の意味と意義」

【参加費】無料

【お申し込み】不要

【定員】150 人

【お問い合わせ先】

広島大学理学部附属未来創生科学人材育成センター

E-mail : ri-yugo@hiroshima-u.ac.jp

Tel : 082-424-4384



2024 年ノーベル賞の各テーマ及び受賞者

○生理学・医学賞

ヒトの遺伝子の働きを制御することができる「マイクロ RNA 分子」を発見

マサチューセッツ大学 ビクター・アンブロス教授

ハーバード大学 ゲイリー・ラブカン教授

○化学賞

AI でたんぱく質の構造予測に成功

ワシントン大学 デイビッド・ベイカー教授

DeepMind (ディープマインド) 社※ デミス・ハサビス CEO、研究チームのジョン・ジャンパー氏

※アメリカの IT 企業グーグルのグループ会社。本社はロンドンにある。

○物理学賞

AI の中核担う「機械学習」の基礎

プリンストン大学 ジョン・ホップフィールド教授

トロント大学 ジェフリー・ヒント教授

○平和賞

日本原水爆被害者団体協議会

○文学賞

韓国の現代文学を代表する作家 ハン・ガン氏

○経済学賞

社会制度と国家の繁栄の関係の研究

マサチューセッツ工科大学 ダロン・アセモグル教授

マサチューセッツ工科大学 サイモン・ジョンソン教授

シカゴ大学 ジェームズ・ロビンソン教授



令和 6 年 11 月 29 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) 超伝導の空間的な乱れを可視化する新たな顕微観察技術の開発

超伝導とは、物質を冷却していくと、ある温度で電気抵抗が突然ゼロになる現象であり、発熱によって失われるエネルギーがゼロとなるため、脱炭素や省エネルギーの観点からも注目を集めています。

本学大学院先進理工系科学研究科博士課程後期 3 年の宮井雄大氏、J-PEAKS の重点拠点である放射光科学研究所の島田賢也教授、量子科学技術研究開発機構の岩澤英明プロジェクトリーダー(本学放射光科学研究所客員研究員)、および高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所の小澤健一教授らを中心とする研究チームは、放射光を用いた顕微実験技術とデータサイエンスの手法を組み合わせ、高い温度で「銅酸化物高温超伝導体」に超伝導が生じる仕組みを世界で初めて明らかにするとともに、高温超伝導デバイスの評価や動作原理の解明などにも広く適用できる実験手法を確立しました。安価な冷却材で超伝導が生じる仕組みを解明した本研究の成果が、持続可能な社会の実現に寄与することが期待されます。

(2) 株式会社イズミ株式 9 万株のご寄付による創薬拠点の整備について

本学は J-PEAKS を通じて「半導体・超物質」「再生・細胞医療・創薬」分野を重点拠点と位置づけ、集中的に研究力を強化するための取組を進めています。

創薬分野の拠点となる PSI GMP 教育研究センターは、経済産業省の「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に本学の提案が大学で唯一採択されたことを受け、学内共同研究施設として 2022 年 10 月 1 日に設立されました。

この度、山西泰明様(株式会社イズミ代表取締役社長)より、本学における創薬事業への支援を目的として、株式会社イズミ株式 9 万株をご寄付いただきました。本寄付株式は、山西様のご意思に沿い、その配当金を原資として、本学の国際的な規制に即したワクチン及び医薬品の製造・品質管理の課題を解決す

るための人材育成及び研究開発等の活動に活用させていただく予定です。この度のご寄付を受け、創薬拠点におけるさらなる研究の進展が期待されます。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されている。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 未来共創科学研究本部 研究戦略部 研究戦略グループ 前田 TEL:082-424-5656 Mail:gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



第 173 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 6 年 11 月 29 日

内閣府「総合知ワークショップ」を開催します（12/17 開催）

近年、『総合知』（*）の活用が研究開発や専門人材育成の現場でますます重視されています。「第4期中期目標期間における広島大学のあるべき姿」の実現に向けて広島大学が重点的に取り組む5つの事項「President 5 Initiatives for Peace Sciences—新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)—」（2023年公表）においても、『総合知』を活用しつつ社会の安全保障に資する教育研究活動の成果を通じて人々に安心をもたらすことが目標として掲げられています。

本ワークショップは、内閣府が取り組んでいる総合知キャラバンの一環として実施するもので、学術、産業、行政、地域社会など、幅広い立場の皆様にご参加いただき、広島大学の最先端研究プロジェクトにおける「総合知」の実現に向けた具体的な事例や課題等についての議論を深める場としたいと考えています。

みなさまのご参加をお待ちしております。

（*）総合知：多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと

※ 「「総合知」の基本的考え方及び戦略的に推進する方策 中間とりまとめ」資料より
<https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/kihon.html>

記

【日時】 2024年12月17日（火）9：00～11：30

【会場】 広島大学 霞キャンパス 放射線先端医学実験棟 5F 講堂
※ハイブリッド開催

【講演者】

奥原啓輔 プラチナバイオ株式会社 代表取締役 CEO

山脇成人 広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 特任教授

【対象】 どなたでも参加できます

【定員】 90 人

【申し込み】 <https://forms.office.com/r/iZHTGFPkJM>

【イベント HP】 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/news/86805>

【お問い合わせ先】

広島大学 学術・社会連携室 未来共創科学研究本部
共創科学基盤センター 宮良
TEL:070-6645-2583





内閣府 総合知ワークショップ

未来ビジョンから考える総合知を活用した課題設定・人材育成 @広島大学

「総合知」とは、「多様な「知」が集い新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと」と定義されています。本イベントは、広島大学の2つの最先端研究プロジェクトを通して、地域や国際社会が抱える様々な問題（食物アレルギー、デジタル化による次世代の保育・育児など）を産・学・官のさまざまな視野で考え、取組み、解決につなげていくことを目指すワークショップです。

日時 2024年 **12月17日** (火) **9:00~11:30**
ハイブリッド開催

参加費
無料

場所 **広島大学 霞キャンパス 放射線先端医学実験棟5F講堂**
定員 / 90名 参加対象 / どなたでも (広島大学の教職員、地方自治体や関連団体・企業の方など)

講師

「共創の場」から
社会課題を解決する
ブラチナバイオ株式会社
代表取締役CEO
奥原 啓輔氏

プロフィール

広島大卒。JST、内閣官房知的財産戦略推進事務局、東広島市職員を経て、広島大の山本卓教授とJST-OPERA「ゲノム編集」産学共創コンソーシアム(2016-2020)やCOI-NEXT「バイオDX産学共創拠点」(2020-)を構築、運営。2019年から現職。


“脳とこころ”から見た
総合知による
社会課題解決
脳・こころ・感性科学研究センター
特任教授
山脇 成人氏

プロフィール

広島大卒。国立呉病院精神科医師、広島大学医学部教授を経て、2018年から現職。専門はうつ病の臨床と脳科学。AMED脳科学研究戦略推進プログラムうつ病拠点長(2016-2020)、JST革新的イノベーション創出プログラム(COI)感性イノベーション拠点研究リーダー(2013-2020)。

プログラム
【2.5時間】 ■ 司会: 理事・副学長(研究担当)
9:00~ 開会の挨拶 理事・副学長(研究担当)
9:05~ 内閣府からの説明
9:25~ 事例紹介・質疑応答
10:25~ 全体ディスカッション(司会:内閣府)
11:25~ 閉会の挨拶
理事・副学長(社会連携・基金・校友会担当)

参加申込
事前の参加申し込みをお願いします。
<https://forms.office.com/r/iZHTGFpkJM>



【参加申し込み期限】

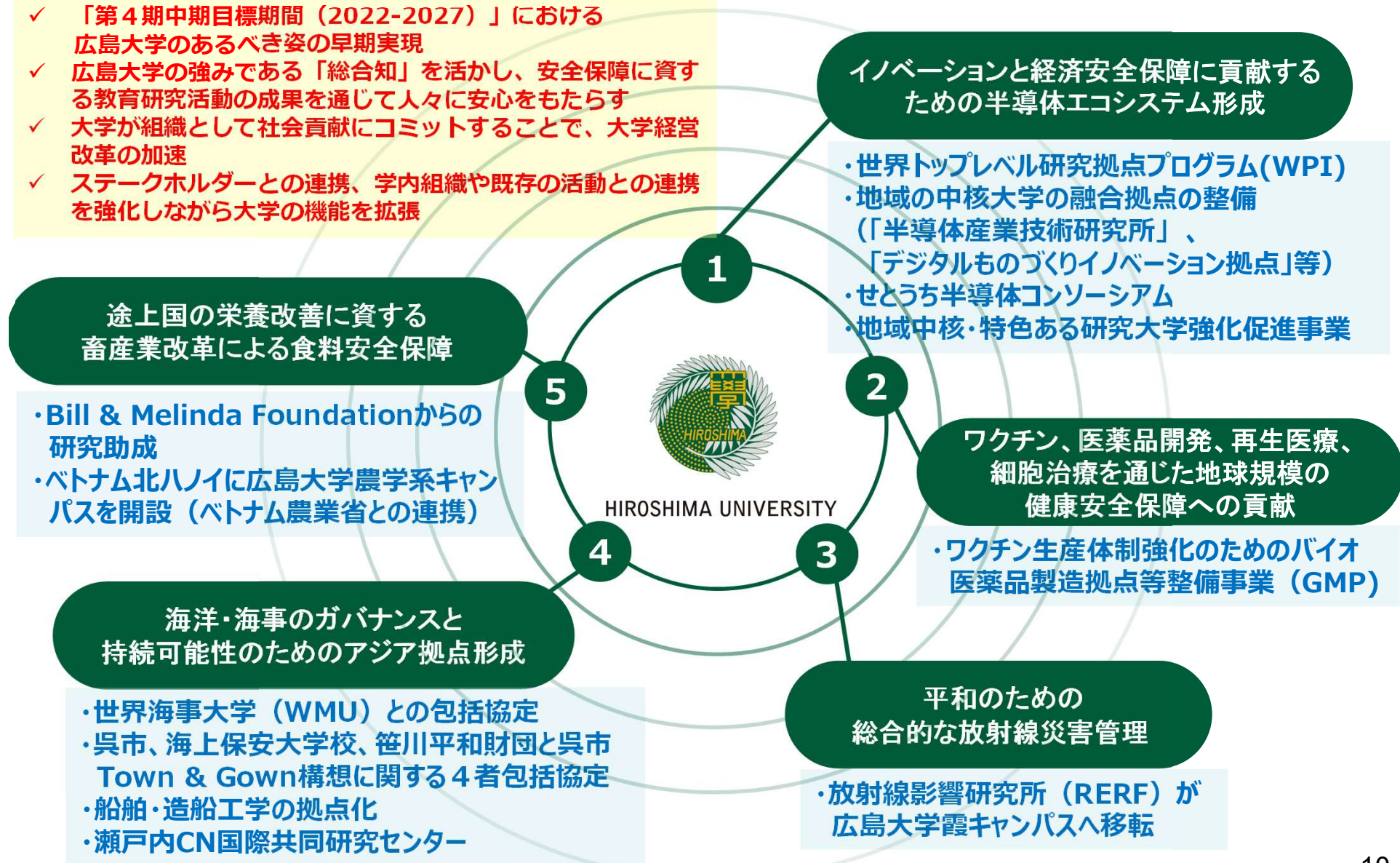
12月16日(月)まで

President 5 Initiatives for Peace Sciences

—新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)—



- ✓ 「第4期中期目標期間(2022-2027)」における広島大学のあるべき姿の早期実現
- ✓ 広島大学の強みである「総合知」を活かし、安全保障に資する教育研究活動の成果を通じて人々に安心をもたらす
- ✓ 大学が組織として社会貢献にコミットすることで、大学経営改革の加速
- ✓ ステークホルダーとの連携、学内組織や既存の活動との連携を強化しながら大学の機能を拡張





第 173 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 3

令和 6 年 11 月 29 日

フォーラム
『若手研究者の育成に資する評価は、どうあるべきか考える』
を開催します（12/16 開催）

「評価」は、何らかの目的があって実施される手段です。現在、科学技術や学術の分野において、さまざまな目的（資源配分の決定、進捗度の点検、等）の「評価」が実施されています。特に若手研究者は、研究活動の過程で何度も「評価」を受けています。このような評価に関わる国内外の現状をふまえて、このたび、広島大学において「若手研究者の育成」に資する「評価」とはどうあるべきかを考えるフォーラムを開催します。

- ◆日 程：2024 年 12 月 16 日（月）13:00-16:00
- ◆会 場：広島大学学士会館レセプションホール（東広島キャンパス）
- ◆基調講演：「若手研究者の活躍と成長を促す場づくりを目指して」
- ◆講 師：吉武 博通氏(学校法人東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授)
- ◆使用言語：日本語
- ◆対 象：学生、若手研究者、教職員、その他関心のある方
- ◆定 員：会場 80 人、オンライン 100 人【ハイブリッド開催】
- ◆託 児：託児サービス(無料)をご利用いただけます。
- ◆参加申込：下記 URL、あるいは添付フライヤーに記載された QR コードからお申込みください。

(託児サービスの利用申込もこちらから)

<https://forms.office.com/r/LwYakeyZSz>

【申込締切】2024 年 12 月 13 日(金) 16:00 まで

(※託児サービスは、12 月 10 日(火) まで)

- ◆イベント URL：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hiraku-g/news/86970>
- ◆当日の取材：可能（セミナーの傍聴、講師や受講者へのインタビューなど）。ただし、講師へのインタビューはセミナーの直前と直後をお避けください。なお、取材をご希望の際は、以下のお問い合わせ先へご連絡ください。

【お問い合わせ先】

広島大学 地方協奏による世界トップクラスの研究者育成
(HIRAKU-Global) 事務局
TEL:082-424-7408/4451 FAX:082-424-6189



フォーラム 『若手研究者の育成に資する評価は、 どうあるべきか考える』

2024年12月16日(月) 13:00-16:00

場所: 広島大学学士会館レセプションホール(東広島キャンパス)

「評価」は、何らかの目的があって実施される手段である。現在、科学技術・学術の分野において、様々な目的(資源配分の決定、進捗度の点検、等)の「評価」が実施されている。とくに若手研究者は、研究活動の過程で何度も「評価」を受けている。本フォーラムでは国内外の現状をふまえて、「若手研究者の育成」に資する「評価」とはどうあるべきかを考える。

プログラム

司会: 石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)

- 13:00 開会挨拶 宮崎 誠一 広島大学 理事・副学長(研究担当)
- 13:05 趣旨説明 石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)
- 13:15 基調講演 「若手研究者の活躍と成長を促す場づくりを目指して」
吉武 博通 学校法人東京家政学院理事長/筑波大学名誉教授
- 13:50 さまざまな視点からの「評価」についての報告
- 1) 「島根大学の取組から見てきた若手・女性研究者評価の課題」
河野 美江 島根大学 副学長(SDGs・ダイバーシティ担当)
 - 2) 「広島大学・島根大学調査分析事業:スウェーデン、ドイツ、米国における女性研究者評価について」
石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)
 - 3) 「HIRAKU-Globalにおける若手研究者の“performance review”システム」
相田 美砂子 愛媛大学 監事/広島大学 特命教授
- 14:35 休憩
- 14:45 若手研究者から見た「評価」
金田一 清香 広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授
酒井 大史 愛媛大学プロテオサイエンスセンター 助教
- 15:15 全体討論
- 15:45 討論のまとめ 山村 康子 科学技術振興機構(JST) プログラム主管
- 15:55 閉会挨拶 石田 洋子 広島大学 副学長(ダイバーシティ担当)



ハイブリッド開催

学生、若手研究者、教職員、
一般のみなさまのご参加を歓迎いたします。

参加(無料)
(要申込)

●託児あり(無料)

締切: 12月13日(金) 16:00

申込: 下記URLまたは右の二次元コードから

<https://forms.office.com/r/LwYakeyZSs>

要申込(12月10日(火)までに)



主催

広島大学

「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成(HIRAKU-Global)」 代表機関: 広島大学 共同実施機関: 山口大学、徳島大学、愛媛大学
(文部科学省 世界で活躍できる研究者戦略育成事業(令和元年度採択))

「地方大学における理工系女性研究者が働きやすく働きがいのある研究環境づくりのための調査分析」 代表機関: 広島大学 共同実施機関: 島根大学
(文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(調査分析)(令和5年度採択))

「女性科学技術フェロシップ制度の創設による次世代の積極的育成」(広島大学)

(文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)(令和3年度採択))

「SAN'INダイバーシティ推進ネットワーク〜多様な力で地球の未来をつくる〜」 代表機関: 島根大学 共同実施機関: 島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校
(文部科学省 科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)(令和元年度採択))



第 173 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 4

令和 6 年 11 月 29 日

【広島大学創立 75+75 周年記念事業】
「三分一博志講演会 & 三分一博志と巡るおりづるタワー」
の開催について

広島大学 75+75 周年を記念し、広島を拠点に活動し世界的にも高い評価を受けている建築家である三分一 博志（さんぷいち ひろし）氏が、自身の広島・瀬戸内地域の建築作品を通して、建築の魅力や地方でものづくりに取り組むことの意義を広く伝えるための講演会と建築作品見学会を下記のとおり開催します。

開催概要

◆三分一博志 講演会 「建築は未来への手紙」

日 時：2024 年 12 月 21 日(土) 14:00-16:00

開 場：13:30(建築展「水」インタビュー動画上映)

会 場：広島国際会議場国際会議ホールヒマワリ

申 込：事前予約制・参加無料(定員 500 人)

対 象：どなたでもご参加いただけます

◆三分一博志と巡るおりづるタワー

日 時：2024 年 12 月 21 日(土) 16:30-17:30

会 場：おりづるタワー

申 込：事前予約制・参加無料

対 象：高校生・大学生(定員 60 人)

※講師プロフィール

三分一 博志（さんぷいち ひろし）

■略歴

1968 年生まれ / 1992 年東京理科大学卒業 / 2011 年～デンマーク王立芸術アカデミー教授(非常勤) / 2017 年日本・デンマーク外交関係樹立 150 周年親善大使 / 2024 年～広島大学大学院客員教授

申込み方法

事前予約が必要です。右の QR コードからお申込みください。

※定員に達し次第締め切ります。



主催

広島大学工学部(事業委員会：建築学プログラム)

共催

(一社)日本建築学会中国支部、(公社)日本建築家協会中国支部広島地域会

協賛

(一社)日本建設業連合会中国支部、広大建友会

後援

デンマーク王国大使館、外務省、広島県教育委員会、広島市教育委員会、(公財)福武財団、(一社)広島県建設士事務所協会、(公社)広島県建設士会

【お問い合わせ先】

大学院先進理工系科学研究科 准教授 中園（なかその）

E-mail: tnkzn@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-424-7834



建築は未来への手紙

①

2024



広島大学創立 75+75 周年記念事業 講演会・おりづるタワー見学会

建築家 三分一博志

広島大学大学院客員教授



2024.12.21 | 土 | 14:00 (開場・建築展「水」インタビュー動画上映 13:30 -)

広島国際会議場国際会議ホールヒマワリ

主催：広島大学工学部(事業委員会：建築学プログラム) 共催：(一社)日本建築学会中国支部、(公社)日本建築家協会中国支部広島地域会
協賛：(一社)日本建設業連合会中国支部、広建友会

後援：デンマーク王国大使館、外務省、広島県教育委員会、広島市教育委員会、(公財)福武財団、(一社)広島県建築士事務所協会、
(公社)広島県建築士会

②



三分一博志 | Hiroshi Sambuichi



Photo Takehiro Goto

■略歴 1968 年生まれ / 1992 年東京理科大学卒業 / 2011 年～デンマーク王立芸術アカデミー教授（非常勤） / 2017 年日本・デンマーク外交関係樹立 150 周年親善大使 / 2024 年～広島大学大学院客員教授

“人にも地球にも認めてもらえる建築を目指して”

三分一博志は、広島 naturally に学び育ち修道高校を卒業後、東京理科大学工学部建築学科で建築学を修める。現在も広島を拠点に「建築は地球の一部である」という理念のもと、瀬戸内地域を中心とした唯一無二の建築を生み出している。その「人にも地球にも認めてもらえる建築」を目指す姿勢は、The Daylight Award(デンマーク・スイス)を受賞するなど現代のグリーンアーキテクトの第一人者として海外でも高く評価されている。

瀬戸内国際芸術祭作品「犬島精錬所美術館」は、自然のエネルギーを利用した建築として日本建築学会賞・日本建築大賞を史上初のダブル受賞。「直島ホール」は、日本建築学会賞、村野藤吾賞、BCS 賞を受賞。「宮島弥山展望台」からの眺望は、ミシュラン・グリーンガイドの三つ星を得るなど、建築を通じて瀬戸内地域の自然、伝統文化の発信と地球環境の再生を試みている。

世界各地の講演会に招かれ、2017 年には日本・デンマーク外交関係樹立 150 周年親善大使としてシステアナ美術館（CISTERNERNE）で三分一博志建築展「水」を行うなど、国際親善交流などにも取り組んでいる。

■主な受賞歴 The Daylight Award(デンマーク・スイス)、日本建築学会賞、日本建築大賞、BCS 賞、村野藤吾賞、吉岡賞他多数

■主な講演会 ニューサウスウェールズ大学（2012 シドニー）、The Japan Society（2015 ニューヨーク）、Le Carreau du Temple（2018 パリ）、Japan House（2019 サンパウロ）、東京大学（2022 東京）、デンマーク王立芸術アカデミー（2023 コペンハーゲン）他多数

■その他主な作品 「おりづるタワー」「Wood Egg お好み焼館」「自然体感展望台・六甲枝垂れ」「三輪窯」「エアー・ハウス」「ストーン・ハウス」「北向傾斜住宅」

広島大学建築グループ / Hiroshima University Architecture Group

■三分一博志 講演会（CPD2 単位）

「建築は未来への手紙」

開 場：13:30（建築展「水」インタビュー動画上映）

講演会：14:00 - 16:00

会 場：広島国際会議場国際会議ホールヒマワリ

広島県広島市中区中島町 1 - 5

申 込：事前予約制・参加無料（定員 500 名）

■三分一博志と巡るおりづるタワー

日 時：2024 年 12 月 21 日（土）16:30 - 17:30

会 場：おりづるタワー

広島県広島市中区大手町 1 丁目 2 - 1

申 込：事前予約制・参加無料

対 象：高校生・大学生（定員：60 名）

■申込み方法

事前予約が必要です。右記 QR コードの申し込みフォームによりお申込み下さい。

※定員になり次第締切



① 瀬戸内海国立公園 宮島弥山展望休憩所（広島県 2013 年）© 新建築社写真部

② おりづるタワー（広島県 2016 年）© 新建築社写真部

③ Cisternne Pavilion 「the Water」(デンマーク 2017 年) © Jens Markus Lindhe

